

令和8年4月1日

試験依頼者住所 福井県越前市塚原町24-15  
試験依頼者 株式会社 フェニックス



試験委託者住所 福井県鯖江市二丁掛町第7号6番地  
試験委託者 ベルテクス株式会社 試験分析センター  
試験責任者 センター長 小林 宏成

## 試験結果報告書

材料試験の結果を別紙の通りご報告致します。

- |         |  |
|---------|--|
| 1. 試験名  | 砕石砂の材料試験   |
| 2. 採取場所 | 株式会社フェニックス砕石工場 越前市下平吹町   |
| 3. 試験項目 | ふるい分け試験・微粒分量試験・単位容積質量試験<br>有機不純物試験・密度及び吸水率試験・安定性試験<br>粘土塊量試験・骨材中の塩化物量試験<br>粒形判定実積率試験 |



## 骨材試験結果一覧表

依頼者	会社名	株式会社 フェニックス
	所在地	福井県越前市下平吹町18-1
申依頼者事項	試料採取日	令和8年3月2日
	試料採取場所	骨材堆積場
	試料採取者	橋本 俊幸
試料搬入日		令和8年3月2日
試験日		令和8年3月3日 ~ 令和8年3月31日

試験体種類		産地
細骨材	碎石砂	南条郡南越前町赤萩

試験項目			試験結果
ふるい分け試験	JIS A 1102	粗粒率	3.14
微粒分量試験	JIS A 1103	微粒分損失質量 %	1.4
単位容積質量試験	JIS A 1104	単位容積質量 kg/l	1.74
		実積率 %	65.9
有機不純物試験	JIS A 1105	標準色に比較して	淡い
密度及び吸水率試験	JIS A 1109	表乾密度 g/cm <sup>3</sup>	2.67
		絶乾密度 g/cm <sup>3</sup>	2.64
		吸水率 %	1.22
すりへり試験	JIS A 1121	すりへり減量 %	—
安定性試験	JIS A 1122	安定性損失質量 %	3.0
粘土塊量試験	JIS A 1137	粘土塊量 %	0.00
骨材中の塩化物量試験	JIS A 5308	塩化物含有率 %	0.000
粒形判定実積率試験	JIS A 5005	粒形判定実積率 %	59.1
技術管理者		榎田 直也	
試験担当者		赤澤 駿介	

<試験実施場所> ベルテクス株式会社 試験分析センター 福井県鯖江市二丁掛町7号6番地

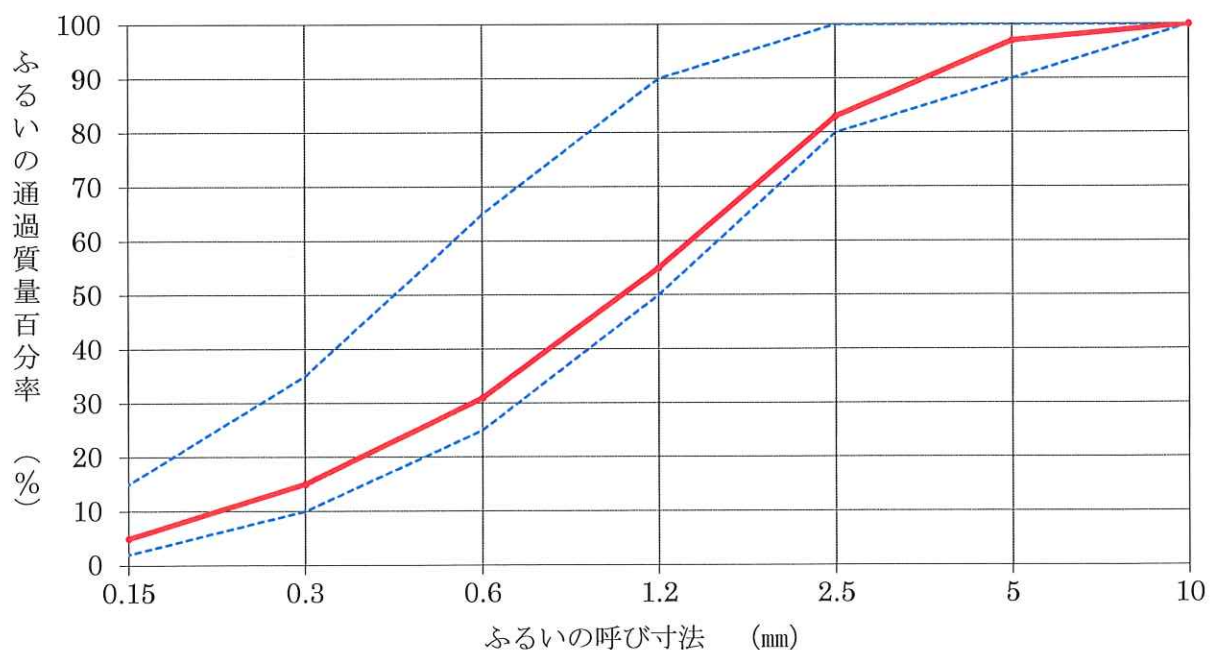
試験規格 JIS A 1102

骨材のふるい分け試験（細骨材）

試験担当者： 赤澤 駿介

試験日	令和 8 年 3 月 6 日			
試料	種類	砕石砂	最大寸法	5mm
	産地	南条郡南越前町赤萩		
	採取日	令和 8 年 3 月 2 日		
	採取場所	骨材堆積場		
ふるい分け方法	手動	ふるい分け前の質量	531.6	
ふるいの呼び寸法 (mm)	連続する各ふるいの間にとどまる試料の質量 (g)	連続する各ふるいの間にとどまる試料の質量分率 (%)	各ふるいにとどまる質量分率 (%)	各ふるいを通過する質量分率 (%)
10	0.0	0	0	100
5	13.3	3	3	97
2.5	76.7	14	17	83
1.2	146.9	28	45	55
0.6	126.5	24	69	31
0.3	84.8	16	85	15
0.15	55.4	10	95	5
受け皿	27.5	5	100	0
合計	531.1	100	—	—
試験前後の質量差 (%)	0.09	粗粒率	3.14	
隣接するふるいにとどまる量の質量分率の差の最大値 (%)				28

粒度曲線図





試験規格 JIS A 1103

骨材の微粒分量試験（細骨材）

試験担当者： 赤澤 駿介

細 骨 材			
試 験 日		令和 8 年 3 月 5 日	
試 料	種 類	砕石砂	
	産 地	南条郡南越前町赤萩	
	採 取 日	令和 8 年 3 月 2 日	
	採 取 場 所	骨材堆積場	
試 験 回 数		1	2
洗う前の試料の乾燥質量 (g)	$m_1$	577.4	533.2
洗った後の試料の乾燥質量 (g)	$m_2$	569.3	525.6
骨材の 微粒分量 $= \frac{m_1 - m_2}{m_1} \times 100$ (%)	A	1.4	1.4
2回の試験の平均値 (%)	$\bar{A}$	1.4	
平均値からの差 (規格値:0.3%以下)		0.0	

試験規格 JIS A 1104

骨材の単位容積質量及び実積率試験

試験担当者： 赤澤 駿介

試験日			令和 8 年 3 月 31 日	
試料	種類	碎石砂		
	産地	南条郡南越前町赤萩		
	採取日	令和 8 年 3 月 2 日		
	採取場所	骨材堆積場		
試験回数			1	2
単位容積質量	容器の質量 (kg)	(1)	0.908	0.908
	容器の容積 (l)	V	2.001	2.001
	(容器+試料)の質量 (kg)	(2)	4.385	4.381
	試料の質量 = (2)-(1) (kg)	$m_1$	3.477	3.473
	単位容積質量 = $\frac{m_1}{V}$ (kg/l)	T	1.74	1.74
	2回の試験の平均値 (kg/l)	$\bar{T}$	1.74	
	平均値からの差 (規格値:0.01kg/l以下)		0.00	
実積率	試料の絶乾密度 (g/cm <sup>3</sup> )	$d_D$	2.64	
	実積率 = $\frac{T}{d_D} \times 100$ (%)	G	65.9	



試験規格：JIS A 1105

細骨材の有機不純物試験

試験担当者：赤澤 駿介

試 験 日	令和 8 年 3 月 12 日	
試 料	種 類	碎石砂
	産 地	南条郡南越前町赤萩
	採 取 日	令和 8 年 3 月 2 日
	採 取 場 所	骨材堆積場
試 験 結 果 (標準色液又は色見本よりも)	淡い	

試験規格 JIS A 1109

## 細骨材の密度及び吸水率試験

試験担当者： 赤澤 駿介

試験日			令和 8 年 3 月 18 日	
試料	種類	碎石砂		
	産地	南条郡南越前町赤萩		
	採取日	令和 8 年 3 月 2 日		
	採取場所	骨材堆積場		
試験回数			1	2
表乾密度	水を満たした ピクノメータの全質量 (g)	$m_1$	1152.6	1163.3
	表乾密度試験用試料の質量 (g)	$m_2$	557.1	548.4
	試料と水で満たした ピクノメータの質量 (g)	$m_3$	1501.5	1506.7
	試験温度における水の密度 (g/cm <sup>3</sup> )	$\rho_w$	試験水の温度 20 °C	
			0.9982	
	表乾密度 = $\frac{m_2 \times \rho_w}{m_1 + m_2 - m_3}$ (g/cm <sup>3</sup> )	$d_s$	2.67	2.67
	2回の試験の平均値 (g/cm <sup>3</sup> )	$\bar{d}_s$	2.67	
平均値からの差 (規格値:0.01g/cm <sup>3</sup> 以下)		0.00		
絶乾密度	表乾状態の 吸水率試験用試料の質量 (g)	$m_4$	582.1	536.8
	乾燥後の 吸水率試験用試料の質量 (g)	$m_5$	575.1	530.4
	絶乾密度 = $d_s \times \frac{m_5}{m_4}$ (g/cm <sup>3</sup> )	$d_d$	2.64	2.64
	2回の試験の平均値 (g/cm <sup>3</sup> )	$\bar{d}_d$	2.64	
	平均値からの差 (規格値:0.01g/cm <sup>3</sup> 以下)		0.00	
吸水率	吸水率 = $\frac{m_4 - m_5}{m_5} \times 100$ (%)	Q	1.22	1.21
	2回の試験の平均値 (%)	$\bar{Q}$	1.22	
	平均値からの差 (規格値:0.05%以下)		0.01	

水の温度と密度					
温度 (°C)	密度 (g/cm <sup>3</sup> )	温度 (°C)	密度 (g/cm <sup>3</sup> )	温度 (°C)	密度 (g/cm <sup>3</sup> )
15	0.9991	19	0.9984	23	0.9975
16	0.9989	20	0.9982	24	0.9973
17	0.9988	21	0.9980	25	0.9970
18	0.9986	22	0.9978	—	—

試験規格 JIS A 1122

硫酸ナトリウムによる骨材の安定性試験（細骨材）

試験担当者： 赤澤 駿介

細 骨 材							
試 験 日				令和 8 年 3 月 27 日			
試 料	種 類			碎石砂			
	産 地			南条郡南越前町赤萩			
	採 取 日			令和 8 年 3 月 2 日			
	採 取 場 所			骨材堆積場			
ふるいの呼び寸法		ふるい分け試験		試験前の 各群の質量 (g)	試験後の 各群の質量 (g)	各群の損失 質量分率 $(1 - \frac{m_2}{m_1}) \times 100$ (%)	骨材の損失 質量分率 $\frac{\textcircled{1} \times P_1}{100}$ (%)
通る ふるい	とどまる ふるい	各群にとどまるもの					
(mm)	(mm)	質量 (g)	①質量分率 (%)	$m_1$	$m_2$	$P_1$	(%)
0.15	—	27.5	5	—	—	—	—
0.3	0.15	55.4	10	—	—	—	—
0.6	0.3	84.8	16	100.0	97.3	2.7	0.4
1.2	0.6	126.5	24	100.0	96.8	3.2	0.8
2.5	1.2	146.9	28	100.0	95.5	4.5	1.3
5	2.5	76.7	14	100.0	97.3	2.7	0.4
10	5	13.3	3	—	—	2.7	0.1
合 計		531.1	100	—	—	—	3.0

注) ①の質量分率が全質量の5%に満たない群のものについては試験をしないが、その群の前後における損失質量分率の平均値をもって その群の値とする。前後の群における試験値のいずれかが欠けているときは、欠けていないほうの群の損失質量百分率をとる。

試験規格： JIS A 1137

骨材中に含まれる粘土塊量の試験

試験担当者： 赤澤 駿介

細 骨 材			
試 験 日		令和 8 年 3 月 10 日	
試 料	種 類	碎石砂	
	産 地	南条郡南越前町赤萩	
	採 取 日	令和 8 年 3 月 2 日	
	採 取 場 所	骨材堆積場	
試験前の試料の乾燥質量	(g)	$m_{D1}$	189.5
試験後の試料の乾燥質量	(g)	$m_{D2}$	189.5
粘土塊量 = $\frac{m_{D1} - m_{D2}}{m_{D1}} \times 100$	(%)	C	0.00

注1) 試験回数は、附属書Bによる

試験規格：JIS A 5308 附属書JA 10.p

細骨材の塩化物量試験

試験担当者： 赤澤 駿介

試 験 日		令和 8 年 3 月 13 日		
試 料	種 類	碎石砂		
	産 地	南条郡南越前町赤萩		
	採 取 日	令和 8 年 3 月 2 日		
	採取場所	骨材堆積場		
細骨材の試料 <sup>*</sup>	(g)	—	1005.1	
試料のろ液	(ml)	V	50	50
28.2mol/L硝酸銀溶液 消費量 (ml)	始点 (ml)	a1	0.00	0.00
	終点 (ml)	a2	0.20	0.20
	a = a2 - a1	a	0.20	0.20
塩化物イオン量 (mgCl/L)		C	4	4
塩化物の含有率 (NaClとして)		(%)	0.000	0.000
2回の試験の平均値	(%)		0.000	

[ 計 算 ]

$$C = \frac{a \times f \times 1000}{V} \times 1$$

試験規格 JIS A 5005 7.6

粒形判定実積率試験

試験担当者： 赤澤 駿介

試験日			令和 8 年 3 月 31 日	
試料	種類		碎石砂	
	産地		南条郡南越前町赤萩	
	採取日		令和 8 年 3 月 2 日	
	採取場所		骨材堆積場	
試験回数			1	2
単位容積質量	容器の質量 (kg)	(1)	0.908	0.908
	容器の容積 (l)	V	2.001	2.001
	(容器+試料)の質量 (kg)	(2)	4.039	4.024
	試料の質量 = (2)-(1) (kg)	$m_1$	3.131	3.116
	単位容積質量 = $\frac{m_1}{V}$ (kg/l)	T	1.56	1.56
	2回の試験の平均値 (kg/l)	$\bar{T}$	1.56	
	平均値からの差 (規格値:0.01kg/l以下)		0.00	
粒形判定実積率	試料の絶乾密度 (g/cm <sup>3</sup> )	$d_D$	2.64	
	実積率 = $\frac{T}{d_D} \times 100$ (%)	G	59.1	

